

臨床研究「皮膚筋炎の自己抗体同定」について

筑波大学附属病院皮膚科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

皮膚筋炎は、現時点では原因不明の膠原病の一つで、その名前の通り、皮膚や筋肉に炎症を起こす自己免疫の病気です。顔や身体、手足、爪の回りなどに独特の赤い皮疹が出現して痒みを伴うことがあります。また、筋肉の炎症が強くと筋力が低下します。皮膚筋炎の中でも、その経過や症状の出方は人それぞれで、間質性肺炎や悪性腫瘍などの合併症の有無も皆が同じではありません。最近では、皮膚筋炎の患者さんの血液中に様々な自己抗体が見つかり、その抗体のタイプによって病気の経過にある程度の特徴が見出されるようになりました。これら筋炎特異的抗体のいくつかは、検出方法が確立し、保険診療で調べられるようになりましたが、まだ検出方法が未確立である抗体も存在し、また、知られている筋炎特異抗体がすべて陰性で、未知の自己抗体を持つと考えられる患者さんもいます。

② 研究対象者

2003年1月1日から2017年8月までに、当院にて皮膚筋炎と診断された患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

④ 研究の方法

通常の診療上で、採血検査にて保険診療で検査できる自己抗体がすべて陰性である場合に、残った血清を用いて、保険診療では調べられない既知の筋炎特異的自己抗体（具体的には抗NXP2抗体、抗SAE抗体、抗TIF1 β 抗体、抗OJ抗体）を同定します。さらにこれらも陰性だった場合に、残りの血清を用いて、新規の筋炎特異的自己抗体の同定も試みます。

⑤ 試料・情報の項目

血液検査や画像検査、病理検査などの、皮膚筋炎の診断に至るデータ

⑥ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学皮膚科（責任者：藤本学）、共同研究機関：国立精神・神経医療研究センター（責任者：西野一三）、東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター（責任者：宮前多佳子）

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやそのご家族（保護者、ご遺族含む）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：皮膚科・沖山奈緒子

電話・FAX：（平日9～17時）029-853-3128・029-853-3217